

## 中央技工室の紹介～引っ越しから現在～

診療支援部歯科技工部門 長谷川 健 二

はじめまして診療支援部歯科技工部門の長谷川健二と申します。今回は技工室が外来棟5階に引っ越してから初めて歯学部ニュースに載ることですので、新技工室の紹介を中心にお伝えしたいと思います。

まずは簡単ですが自己紹介させていただきます。私は、平成10年に新潟大学歯学部附属歯科技工士学校に入学しました。志望理由は細々した作業が割と得意だったこと、兄が同じ学校を卒業していたので学校自体の存在を知っていたこと、今思えば軽い理由でした。卒業後、新潟市内の歯科医院に就職し、縁あって平成21年より当院に勤務することとなり、現在に至ります。

それでは移転後の技工室の紹介をさせていただきます。我々歯科技工士の使用している技工室は中央技工室という名称になっています。以前の技工室に比べ面積は狭くなったものの、メインのワークスペースと各種作業部屋への動線が良くなり、引っ越しに際し不要なものや、在庫品等の見直しにより随分スッキリしたと思います。

部屋の内訳ですが、入り口を入ってすぐ、ワークアップや金属研磨などを行うメインのワークスペースがあります。そこには個人個人にそれぞれ

れ机が割り当てられており、ほとんどの時間を自らの机で過ごすことになるため、照明や収納など好みに合わせ工夫しています。現在6名の歯科技工士が在籍していますが、それぞれ個性が垣間見えます。全体の写真を掲載したかったのですが、引っ越しから3年が経ち個人のワークスペースは使用感が凄まじいという理由から、載せることを断念いたしました。

その他の部屋は用途別に鑄造・石膏室、ポーセレン室、レーザー溶接室の3部屋に分かれています。業務の紹介も兼ねて現在所有する機器の紹介をさせていただきます。

鑄造・石膏室には真空加圧鑄造機（ネオ・スーパーキャストコム）、加圧成型機（エルコプレス）、エルコプレスではスポーツマウスガードやブリーチトレイ、いびき防止用の口腔内装置、放射線治療時に使用する口腔内装置を製作しています。高精度のデンチャー重合システムであるイボカップシステムがあり、それをういたデンチャーシステムであるBPS（Bio-functional Prosthetic System）の認定資格を平成24年に歯科技工士3名が取得し製作に当たっています。その他は石膏関連のものや、義歯の研磨スペースなどがあります。



ポーセレン室には、陶材焼付用のポーセレンファーンエス、硬質レジン等の光重合器、2年前に新規で導入されたプレスファーンエス（プログラマツトEP5000）があります。プログラマツト導入によってセラミックインゴットを軟化、圧入して製作するオールセラミック冠やセラミックインレーなどが製作可能となりました。

レーザー溶接室はその名の通りレーザー溶接機があります。主な用途の1つは部分床義歯やレジン前装冠の様な火をかけてロウ着出来ないような



場合の修理に用いることで素早く修理が出来、患者さんへの時間的負担を軽減すること、2つ目はロングスパンブリッジのロウ着前の仮着に用いることで、ロウ着用埋没材を使用しないでロウ着出来るため精度の向上と材料費削減に効果があります。

昨年ノーベルバイオケア社のプロセラスキャナージェニオン2 Gが新規に導入され、インプラントのアバットメントやインプラントブリッジのフレームなど、ワックスアップした原型をスキャンもしくは、CADソフトでデザインし、データをミリングセンターに送り、チタンやジルコニアを削り出すといったことが技工室からも行えるようになりました。

詳細な説明は割愛させていただきましたがこのような内容で業務に当たっております。私の拙い文章も相まって分かりにくかったと思いますが、もし、興味あることがありましたらぜひ、見学にいらしてください。それでは今後ともよろしくお願い致します。

